

【今日（10月27日）の「コチョコチョタイム」の原稿】

本校には、毎週金曜日の給食の時間に「コチョコチョタイム」という校内放送があります。10分程度ですが、私、校長が生徒にメッセージを発信する時間です。

20年ほど前の学校では、毎週、集会があり、校長からの話がありました。今は、そういった定期的な集会ができないので、報道部に無理を言って、校長から生徒に話しかけられる時間を設定しているのです。

話の内容は、生徒の頑張っている姿であったり、学校が目指す方針であったりします。先日、訳あってコチョコチョタイムができなかった時、生徒から「楽しみにしていたのになぜなかったのですか」といううれしい声も聞こえてきました。

今回は10月27日金曜日に放送したコチョコチョタイムの原稿をアップします。

日本で一番の学校を目指している金津中学校の皆さん。コチョコチョタイムの時間です。

今日は大事な話があります。給食時間であり、給食がおいしくなくなってしまうことも心配しながら話をします。

みんなも知っている通り、今、イスラエルとパレスチナハマスの紛争により多くの命が失われています。今朝の情報では、ガザ地区の死者が7000人にも上り、そのうち子どもが4000人となっています。子どもたちも含め、命の危機に瀕しているのは、全く罪のない人です。何一つ悪いことをしていないのに、ミサイル一発で一瞬にして命が絶たれているのです。

私は、この紛争の原因はよく分かりません。おそらく第2次世界大戦後、イスラエルが建国されたあたりから始まったと言われています。また宗教観の違いによる混乱も根底にあると聞いています。しかし、本当のところはもっと複雑でしょう。しかし、罪のない人、罪のない子どもたちの命が奪われ、命の危機に瀕しているのは事実です。

皆さん、このあとミサイルが落ちてくるかもしれないという状況を想像できますか。いまおいしい給食を食べている時にミサイルが落ちてくるかもしれないっておびえていたなら、給食が喉に通りますか。

ミサイルで狙われているのは、病院や学校です。弱い人たちが集まっている場所がまさに狙われているのです。

争いや戦争のあとは、悲しみと憎しみしか残りません。そしてその憎しみが次の争いにつながっていきます。

友だち関係でもそうでしょ。喧嘩をしている時は熱くなって感情がコントロールできないですが、けんかの後残るのは、虚しさ、そして憎しみでしょう。



しかし、私たちには、コミュニケーション力（言葉であったり最近ではインターネットで世界中の人とつながれることであったり）を持っています。トラブルや誤解を解決するためには、コミュニケーションという手段があるのです。

みんなが取り組んでいるグループ討議は、この世界を生きていくうえで大事なスキルなんです。みなさん、そのスキルをいっぱい身につけ、みんなが大人になったときには、紛争のない世界をつくって行ってください。

もちろん、その前にコミュニケーションを大事にして、喧嘩やいじめの無い中学校をつくってください。